

補正予算の質疑ではこんなことが話題になりました

第2回定例会では、今年度の多摩市一般会計補正予算について、次のような議論がなされました。

困りごと相談をより身近に

民生費 生活困窮者等支援事業

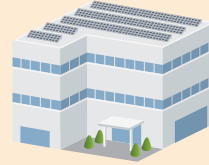


ベルブ永山4階にあるしごと・くらしサポートステーションの2階への移転について質疑があり、これまでの部屋に加え個室が増えることがわかりました。就労支援やひきこもり支援の窓口が常設となり、困窮者の実情に一層即した支援ができるようになることへの評価もありました。また、人目につきやすい場所への移転について、「さらにポスターなどで周知をはかり利用を促進するべき」という意見もありました。

移転費用や家賃に関する質問、また移転前後の閉鎖期間を極力短くする要望など、事業に対して多くの関心が寄せられました。

未来のためにしっかり調査

衛生費 地球温暖化対策事業



ZEB化実現可能性調査業務委託料について、その内容や手法、特に調査結果の活用などに関する質疑がありました。今回の調査は大規模改修予定の施設のうち性質の異なる2施設に関するもので、たとえばZEB化が難しい場合でも、何らかの手段で温暖化対策がとれるよう考慮する可能性もあるとのことでした。ZEBプランナーの関与によって、既存施設の活用に関して調査・研究が進むことへの期待が示されました。

環境対策は本市のみの課題にとどまらないので、本事業の結果を近隣自治体に向けても発信し、ともに目的を遂行することが重要という意見も出されました。

ZEB：Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物のことです。

2人の新しい副市長に抱負をうかがいました！

第1回定例会において陰山峰子氏が、第2回定例会において須田雄次郎氏が、それぞれ新しい副市長に選任されました。



陰山峰子 副市長

経歴

平成4年に東京都に入庁し、令和4年3月31日まで勤務。副市長の任期は令和4年4月1日から令和8年3月31日。

令和4年3月31日付で退任した田代純子氏に代わり、4月1日付で副市長に就任しました。これまで都庁職員として培った行政経験を活かして、多摩市の発展に力を尽くしてまいります。まちづくりを進めるためには市民の皆様のご理解とともに市議会との協力関係は欠かせません。率直に意見交換しながら、市政運営を担っていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。



須田雄次郎 副市長

経歴

平成元年多摩市入庁、教育部長などを歴任し、6月30日までくらしと文化部長。副市長の任期は令和4年7月1日から令和8年6月30日。

このたび市議会の同意を賜り、副市長に就任いたしました須田です。どうぞよろしくお願い申し上げます。市議会と市長はともに市民の代表。緊張感を保ちつつ、信頼関係の下で議論を重ね、多摩市の自治が前へ進められています。私も市民サービス向上のため、市職員時代の経験と一市民としての感覚を大切にしながら阿部市長を補佐し、職員とともに全力で取り組んでまいります。

新議長に いいじま文彦 議員

4月27日に開催された第1回臨時会で、いいじま文彦議員が新議長に選出されました。



市議会は、二元代表制のもと、市長とともに市民の皆様を選ばれた代表で構成される機関です。新型コロナ禍が収まらぬ現在、全議員の力を結集し、市民の生命・安全を守ることを最優先に考えます。また、議会基本条例に基づいて市民に開かれた、わかりやすい議会活動を行い、さらに市民に寄り添った議会にしてまいります。よろしくお願い申し上げます。